

1. 件名：東京電力ホールディングス（株）福島第一原子力発電所特定原子力施設
乾式キャスク仮保管設備に関する面談

2. 日時：令和5年11月9日（木） 13時15分～14時45分

3. 場所：原子力規制庁2階大会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者

原子力規制庁 原子力規制部

検査グループ 専門検査部門

山元首席原子力専門検査官、川下企画調査官、丸山主任原子力専門検査官、

馬場原子力専門検査官、佐藤原子力専門検査官、山中原子力専門検査官

東京電力ホールディングス（株）

福島第一廃炉推進カンパニー 福島第一原子力発電所

プール燃料取り出しプログラム部

5・6号燃料取り出しプロジェクトグループ担当 他3名

5. 要旨

○東京電力ホールディングス（株）から、乾式キャスク仮保管設備の使用前事業者検査のうち気密漏えい検査成績書に記載されている計測器の誤りに関し、前回の面談（令和5年11月7日実施）で原子力規制庁から要求した事実関係等の整理結果について説明を行いたい旨の申出があり、面談を行った。

○東京電力ホールディングス（株）から、資料に基づき、以下の説明があった。

- ・ 使用計測器の確認状況
- ・ 聞き取り調査結果
- ・ 計測器の搬出入実績

○原子力規制庁は、事実確認のための補足の追加情報について整理しておくよう求めた。

○東京電力ホールディングス（株）より了承した旨回答があった。

6. その他

資料：【追加調査】乾式キャスクの社内検査成績書における計測器番号の誤りに
ついて